株主説明会資料

~ CAICAグループ 2019年10月期の取り組み ~

2019年1月30日



1. 業績および財務状況

- 1.1. 2018年10月期連結業績および2019年10月期予想
- 1.2. 財務状況
- 2. 事業戦略
 - 2.1. CAICAグループが目指す未来像
 - 2.2. 情報サービス事業
 - 2.3. 仮想通貨関連事業
 - 2.4. 金融商品取引事業
 - 2.5. トークンエコノミー



業績および財務状況



2018年10月期連結業績及び2019年10月期予想

2018年10月期の売上高は大幅増。当社における仮想通貨運用益の一部が営業外収益等に計上されたこと、および先行投資等により営業赤字となるも、最終利益確保。 2019年10月期の売上高は、既存事業に加え、仮想通貨交換所システム外販で増加を見込む。利益面も増加を見込むも、仮想通貨運用益は前期ほどは見込まず。

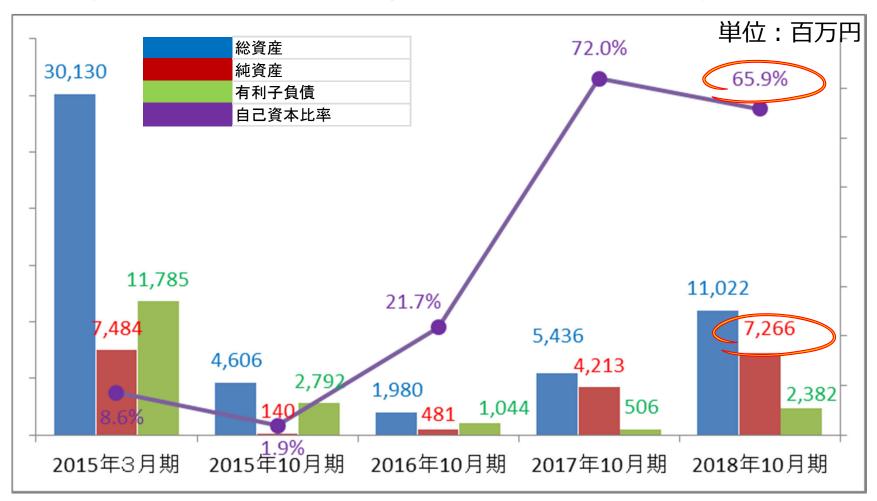
(単位:百万円)

	2017年 10月期	2018年 10月期	増減比	2019年 10月期 予想	増減比
売上高	5,300	7,640	44.1%	9,652	26.3%
営業利益	296	△395	_	630	_
経常利益	728	612	△15.9%	657	7.2%
当期 純利益	661	632	△4.4%	531	△16.0%
1株当たり 当期 純利益	2円40銭	1円77銭	_	1円48銭	_



財務状況

銀行与信回復、自己資本比率V字回復、取引先の信用回復



2019年10月期における株主還元策については業績結果をふまえ適宜判断いたします。



事業戦略



CAICAグループが目指す未来像

他のFinTech企業とは一線を画す、金融(Fin)とIT(Tech)が高度に統合した、圧倒的に強い真のFinTech企業へ!





CAICAグループ

従来からの情報サービス事業に加え、新たな注力領域として仮想通貨関連事業・金融商品取引事業を追加

情報サービス事業

●システム開発、システム に関するコンサルティング 、システムのメンテナンス ・サポート

仮想通貨関連事業

- ●仮想通貨に関するシステムの研究、開発、販売およびコンサルティング
- 仮想通貨の投融資、運用 事業

金融商品取引事業

- ●金融商品取引法に基づく 第一種金融商品取引業、投 資運用業
- ●カバードワラントのマー ケットメイク及び発行業務

CAICA 、東京テック、 ネクス・ソリューションズ

- ◆50年のシステム構築 実績
- ◆蓄積された金融シス テムの開発ノウハウ
- ◆大手SIerとの強固な 信頼関係

CAICA、CCCT

- ◆仮想通貨の基幹技術 であるブロックチェー ン技術の知見
- ◆仮想通貨交換所 (FCCE、Zaif) システ ム構築実績

eワラント3社

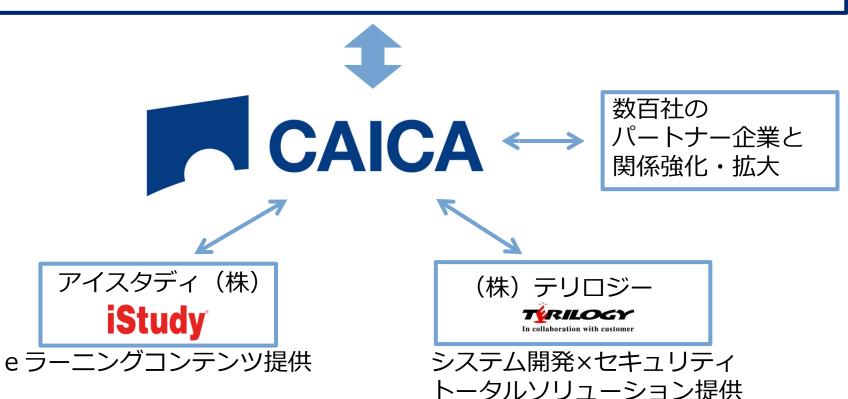
- ◆カバードワラントの商品 設計、システム開発、安定 運用等における高度な専門 知識と経験
- ◆登録商標である「eワラ ント」の高い知名度



提携企業およびビジネスパートナーとの連携を強化し収益拡大









フィンテック関連のインテグレーターとしてトップランナーのポジションを 築くとともに、従来型ビジネスは上流比率を高め収益拡大





今後もプラットフォームの高機能化と運用が続く一方、 各金融機関はFinTech投資への対応に迫られる

不良債権問題等による経営悪化

~2000年

SIerと各銀行に

よる独自勘定系

システム

金融ビッグバンに伴う規制緩和

~2010年

SIerによる

勘定系システム

の共通プラット

フォーム化

低金利の長期化

~2016年

情報系システム・ チャネル系システム への投資拡大, 勘定系システムとの 連携 FinTechの台頭

2017年~

プラットフォーム の高機能化と運用

FinTechへの対応

CAIC

金融機関

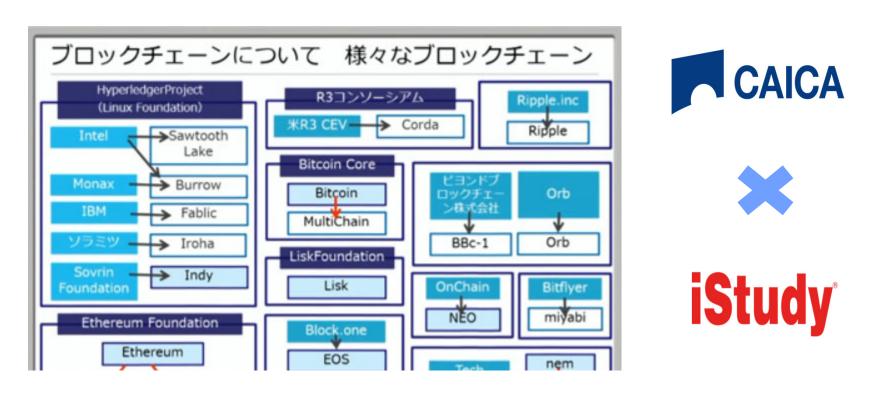
銀行を中心とした金融システムの開発に注力し、ノウハウを 蓄積

豊富な経験を武器に、共通プラットフォーム主要部分の開発を受注拡大

プラットフォー ムから周辺シス テムまでカバー 範囲を拡大 FinTechへいち早 く取り組み、金融 プラットフォーム を開発



CAICA独自のブロックチェーンeラーニング教材を(株)アイスタディと共同制作、CAICAグループの全技術者をブロックチェーン技術者に育成。約600人ものブロックチェーン技術者集団を構築する。

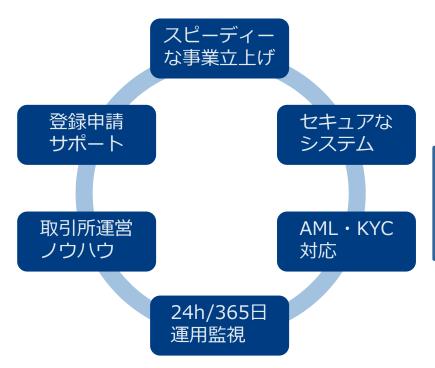


国内トップクラスのブロックチェーン技術者集団へ!



当社戦略子会社CCCTが仮想通貨交換所システムを自社パッケージ製品として開発、外販を開始

仮想通貨交換業者、みなし仮想通貨交換業者、新規参入意向のある企業、 グローバル市場も視野に営業を展開中



仮想通貨交換所システムに関わる あらゆる業務を**フルサービス**で提供

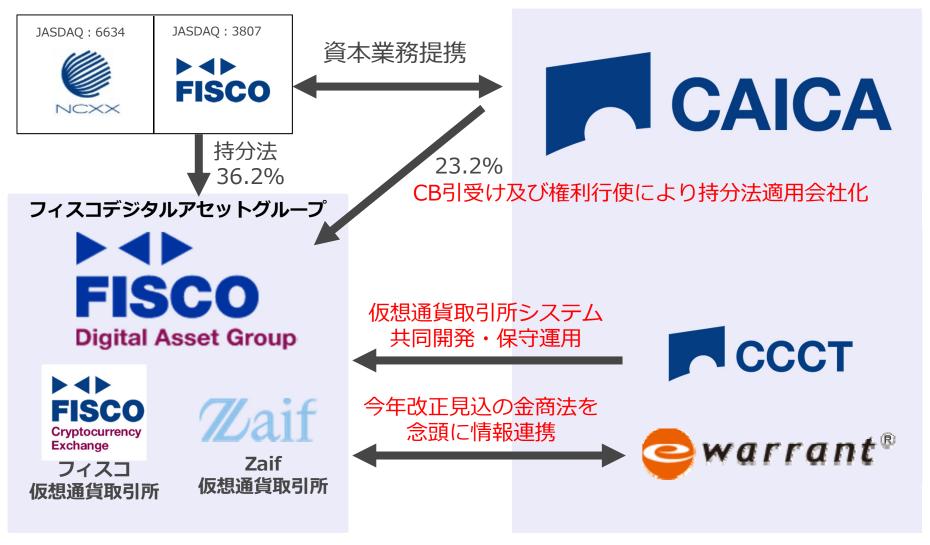
新たな収益の獲得!

- ・システム利用料型などの新しい収益
- ・保守・運用による安定収益

※AML (=Anti-Money Laundering) ・・・ 反社会的勢力やテロ組織、犯罪者集団などによりマネーロンダリングや詐欺を防ぐための対策のこと。 ※KYC(=Know Your Customer) ・・・ 口座開設を行う際に、その顧客がどのような人物なのか、十分な身元確認を行い不正利用を防ぐための対策のこと。 フィスコ仮想通貨取引所における安定した稼働実績



仮想通貨関連ビジネス拡大のため、フィスコグループ企業と密接に連携





CAICAは、ブロックチェーン 2.0 時代のトークンファイナンスにかかわる全てのソリューションを提供するプラットフォームを構築する

Blockchain 1.0 (2008~2016)

ブロックチェーンを中核技術とする仮想通貨(トークン)の誕生

Blockchain 2.0 (2017~2020)

ブロックチェーンの進化と仮想通貨/トークンがもたらす金融革命 トークンファイナンスが発展

*We are here!

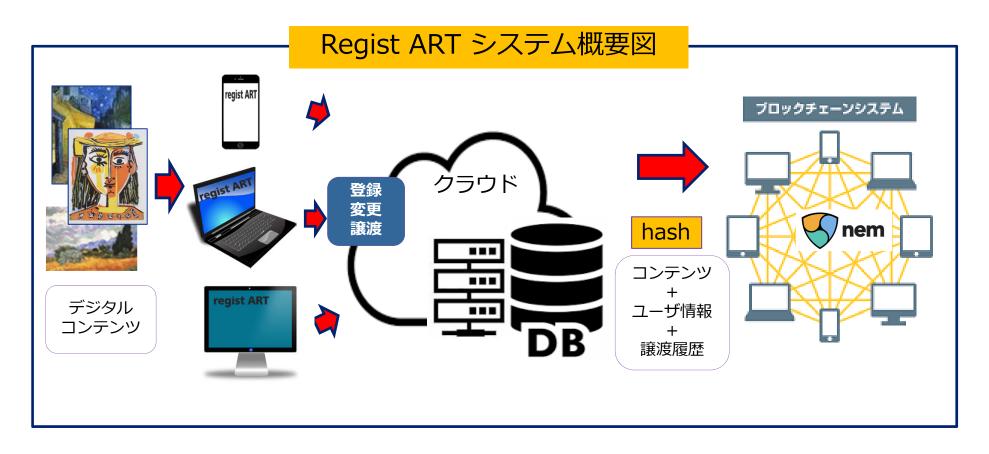
- ・多数の実証実験に成功
- |・仮想通貨交換所システム
- ・公証プラットフォーム
- ・ブロックチェーン技術者 育成

Blockchain 3.0 (2021~2025)

ブロックチェーンを活かし、ライフスタイルの転換を促す



ブロックチェーンを活用した自社開発のプラットフォームを早期に商用化



ブロックチェーンとは、全ての取引内容が記録されているデータ群を、中央サーバーなしで、対等な立場の複数のネットワーク参加者が管理する技術



金融商品取引事業

eワラント証券による魅力ある金融商品の開発

商品開発

- ・ ユニークな商品を開発・展開。堂島商品取 引所のコメ先物を対象とする商品の取り扱 いを2019年1月21日に開始
- 相場が下落した際に値上がりを期待できる 保険的な商品、特に海外株式を対象とする 商品は他社には少なく、eワラント証券の 強み

• グループ内のリソースを活用し、規制動向を踏まえた仮想通貨の活用について調査研究





金融商品取引事業

eワラント証券による、幅広い媒体でのセミナー実施による商品理解の促進に努める。

eワラントは

値動きがスゴイ!

1万円以下から始められるお気軽投資

マーケティング方針

- eワラントは大きな値動きが特長であり、 「投資をもっとお手軽に、もっと面白くす る」金融商品であることを訴求
- ネット&リアルマーケティング ラジオNIKKEIやオウンドメディアによる PRを継続するほか、「eワラントデモトレード」上でデモトレードコンテストの開催、セミナーの実施や投資家向けイベントへの協賛など商品の啓発活動を強化
- ・ 他社とのタイアップ 主力販売会社のSBI証券とキャンペーン の実施







トークンエコノミー

当社はトークンエコノミーの構成要素を事業ドメインに設定しています。

トークンエコノミーとは

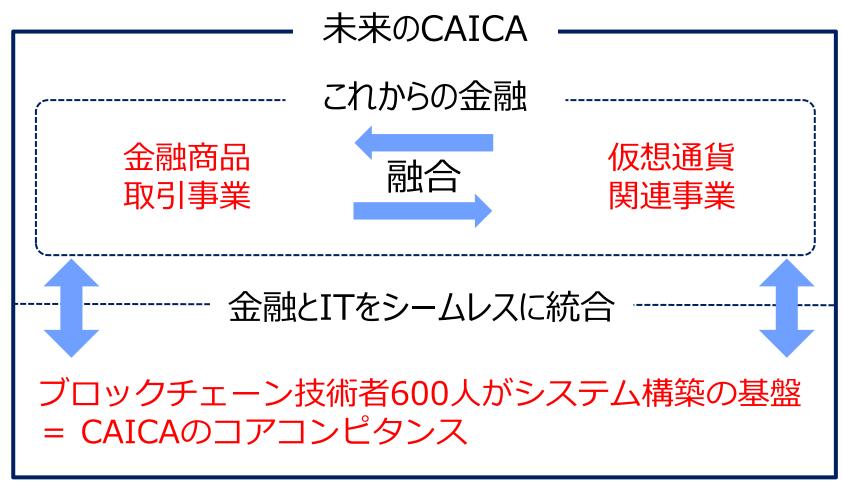
世の中の様々な事物の権利や価値を仮想通貨/トークンを利用して譲渡売買できる経済 ブロックチェーン技術を中核技術に、スマートコントラクトの実装にて経済取引が効率化 これまで価値をつけられなかったモノに価値をつけられるようになり、価値交換のあり方自体が大きく 様変わりする

構成要素		特徴			サービスの具体例	
アプリ		•	Digital Asset(*仮想通貨に代 表されるトークン)にて、 P2Pによる価値の交換	•	ビットコインや イーサリアム	
ロジック		•	スマートコントラクト(*契約 の定義、契約の自動執行、実 行結果の監査)を実装	•	金融・証券分野	
データベース		•	ブロックチェーン(分散型 データベース)が中核技術	•	mijin .etc	



CAICAグループが目指す未来像

他のFinTech企業とは一線を画す、金融(Fin)とIT(Tech)が高度に統合した、圧倒的に強い真のFinTech企業へ!





ご清聴ありがとうございました。

※当資料は弊社ホームページにて掲載いたします。

